

媒体更新情報

2024年8月度

／ Prime Numbers

目次

| | | |
|----------|-------|----|
| Yahoo!広告 | | 3 |
| LINE広告 | | 9 |
| Meta広告 | | 16 |
| 会社概要 | | 18 |

Yahoo! 広告

Y!

【ディスプレイ広告（運用型）】「1日の予算」変更時の仕様改善について

キャンペーンの「1日の予算」を途中で変更した際の仕様が改善された。

■概要

ディスプレイ広告（運用型）においてキャンペーンの「1日の予算」を途中で変更した際に、その日の残り時間で広告掲載可能な予算額を算出する仕様が改善された。

▼従来の仕様

変更後の「1日の予算」の金額を基に、その日の残り時間を加味して算出した金額を掲載可能な金額とする。

→その日発生したコストは加味しない

▼改善後の仕様

変更後の「1日の予算」の金額から、その日発生したコストを差し引いた金額を掲載可能な金額とする。

→その日発生したコストが加味される

▼メリット

当日の合計コストが変更後の予算額の範囲内におさまるようコントロールされる。
従来の仕様よりわかりやすくなるため、広告運用時の煩雑が解消される。

▼例

正午に「1日の予算」を10,000円→20,000円にした場合（正午時点の発生コストは5,000円）

従来

→10,000円（変更後の予算の半分）を残りの12時間で利用する

改善後

→15,000円（変更前-正午時点の発生コスト）を残りの12時間で利用する

■その他

なし

| | | | |
|-----------|---|------|------|
| 媒体 | Yahoo!ディスプレイ | 情報種別 | 機能変更 |
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | キャンペーンの「1日の予算」を途中で変更した際の仕様が改善された。 | | |
| メリット 活用方法 | 従来の仕様よりわかりやすくなるため、広告運用時の煩雑が解消される。 | | |
| 懸念事項注意点 | 予算の使用ペースが変わるため注意して調整する必要がある | | |
| その他備考 | 2024年7月9日提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240625/ | | |

【ディスプレイ広告（運用型）】「ブランド認知」目的の広告配信拡大について

Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）において、キャンペーン目的「ブランド認知」の広告配信が拡大

■概要

Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）において、キャンペーン目的「ブランド認知」で配信できる枠と広告が拡大される。

■配信可能な掲載枠の拡大

▼従来

スマートフォン版Yahoo! JAPANブランドパネル枠・Yahoo!ニュース プライムカバー枠のみ

▼拡大後

（一部を除く）ディスプレイ広告（運用型）の掲載枠

■入稿可能な広告の拡大

下記が追加される。

- ・バナー（画像）：全てのサイズ
- ・バナー（動画）：全てのサイズ
- ・レスポンス（画像）：全てのサイズ
- ・レスポンス（動画）：アスペクト比1:1および16:9のみ
- ・カルーセル：アスペクト比1:1のみ

■注意点

①従来の広告掲載枠のみに配信したい場合は、プレイスメントターゲティングで以下のURLを配信対象に指定する必要がある。

- ・スマートフォン版Yahoo! JAPAN ブランドパネル枠：m.yahoo.co.jp/bp
- ・Yahoo!ニュース プライムカバー枠：news.yahoo.co.jp/prc

②キャンペーン目的がブランド認知の場合、1日の予算を5万円以上に設定する必要がある。

■その他

なし

| 媒体 | Yahoo!ディスプレイ | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | キャンペーン目的「ブランド認知」で配信できる枠と広告が拡大される。 | | |
| メリット 活用方法 | より多くの面に配信することでより広く認知を獲得できる | | |
| 懸念事項注意点 | 従来の面のみに配信するにはプレイスメントターゲティングを活用しなければならない。 | | |
| その他備考 | 2024年8月7日より順次提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240716/ | | |

【ディスプレイ広告（運用型）】商品閲覧履歴のないユーザーへの配信 正式提供開始

動的ディスプレイ広告において、商品閲覧履歴のないユーザーにも配信する機能の正式提供が開始された

■概要

動的ディスプレイ広告において、2023年11月15日よりβ版として提供している”商品閲覧履歴のないユーザーにも配信する機能”が正式に提供された。β版よりも精度が改善しており、広告成果の向上が見込める。

■機能詳細

動的ディスプレイ広告を商品閲覧履歴のあるユーザーと商品閲覧履歴のないユーザーの両方に配信する機能。広告グループのオーディエンスリスト項目で設定可能。

▼商品閲覧履歴のあるユーザー

→ユーザーが閲覧していた商品や、その商品に関連する商品の広告を配信

▼商品閲覧履歴のないユーザー

→ユーザーのウェブサイト上での行動履歴や属性などに基づいて選定された商品の広告を配信

■注意点

商品閲覧履歴のあるユーザーにのみ配信する設定は2024年冬頃に提供終了する予定。該当の設定をしている場合、提供終了以降はターゲティングしているユーザー全体に配信対象が拡大する。

引き続き商品閲覧履歴のあるユーザーを中心に配信したい場合は、商品閲覧履歴のあるユーザーに絞ったオーディエンスリストを指定するなど設定変更が必要。

■その他

なし

| | | | |
|-----------|---|------|------|
| 媒体 | Yahoo!ディスプレイ | 情報種別 | 機能追加 |
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | 動的ディスプレイ広告において、商品閲覧履歴のないユーザーにも配信する機能の正式提供が開始された | | |
| メリット 活用方法 | β版よりも精度が改善しており、広告成果の向上が見込める。 | | |
| 懸念事項注意点 | 商品閲覧履歴のあるユーザーにのみ配信する設定は2024年冬頃に提供終了する予定。 | | |
| その他備考 | 2024年7月17日提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240718/ | | |

【ディスプレイ広告（運用型）】9：16縦型動画広告の提供開始（再掲）

ディスプレイ広告（運用型）のレスポンス（動画）において、新たに縦型動画広告の提供を開始

■概要

Yahoo!広告 ディスプレイ広告（運用型）のレスポンス（動画）において、新たにアスペクト比「9：16」の縦型フォーマットの動画広告の提供を開始。

■メリット

スマートフォンデバイスでの表示に適した動画広告の配信が可能となり、さらなる広告効果の向上が期待できる。

■掲載面

配信可能な面は以下のとおり。徐々に配信量や配信面が拡大される予定。

- ・ LINE VOOM面
- ・ LINE ニュース面
- ・ LINEファミリーアプリ/LINE広告ネットワーク

■入稿規定

<動画>

アスペクト比：9:16

最小ピクセルサイズ：360ピクセル×640ピクセル

ファイルサイズ：最大200MB

<動画サムネイル>

アスペクト比：9:16

■注意点

一部のLINE掲載面において、

アスペクト比「9：16」フォーマットの広告はトリミングが行われる場合がある。

■その他

なし

| 媒体 | Yahoo!ディスプレイ | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | ディスプレイ広告（運用型）のレスポンス（動画）において、新たに縦型動画広告の提供を開始 | | |
| メリット 活用方法 | スマートフォンでの表示に適した動画広告の配信が可能になる | | |
| 懸念事項注意点 | 一部のLINE掲載面において、広告のトリミングが行われる場合がある | | |
| その他備考 | 2024年7月8日提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240618/ | | |

Y!

【検索広告】自動入札の学習データ除外の提供（再掲）

自動入札の学習データから特定期間のコンバージョンデータを除外できる機能が7月24日に提供された。

■概要

Yahoo!広告 検索広告において、自動入札の学習データから特定期間のコンバージョンデータを除外できる「自動入札の学習データ除外」（以下、学習データ除外と表記）が提供される。

■メリット

特定のコンバージョンを学習データから除外することで、自動入札の学習に及ぼす悪影響を抑えられる。

▼学習データ除外の利用ケースの例

- ・コンバージョン測定タグが正しく設置できていなかった
- ・不正なコンバージョンが発生していた 等

▼備考

学習データ除外を設定した場合、自動入札の学習からのみデータが除外されるため、パフォーマンスレポートやパフォーマンスデータにおけるコンバージョンの実績値に影響はない。

■その他

なし

| 媒体 | Yahoo!検索広告 | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | 自動入札の学習データから特定期間のコンバージョンデータを除外できる機能が提供される。 | | |
| メリット 活用方法 | 特定のコンバージョンを学習データから除外することで、自動入札の学習に及ぼす悪影響を抑えられる。 | | |
| 懸念事項注意点 | — | | |
| その他備考 | 2024年7月24日提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240619/ | | |

LINE広告



【YDA】 【LINE広告】 広告文を生成AIが提案する機能の提供開始について

LINE広告とYahoo!レスポンシブディスプレイ広告のタイトルと説明文を生成AIが提案する機能が提供された。

■概要

広告管理ツールにおいて、レスポンシブディスプレイ広告のタイトルと説明文を生成AIが提案する機能の提供が開始された。

LINE広告（β版）とYahoo!ディスプレイ広告で利用可能。

■機能詳細

広告に設定する最終リンク先URLなどを入力すると、生成AIによって入力した情報をもとにしたタイトル・説明文が生成される。

■メリット

提案されたタイトル・説明文の確認と調整のみで簡単に広告文が作成できるため、広告作成の手間や時間を削減できる。

■注意点

生成AIによるタイトル・説明文の生成は1アカウントにつき1か月最大30回まで。

30回利用すると翌月まで利用できない。

生成AIによって提案されたタイトル・説明文は広告審査の承認を保證するものではない。生成された広告文は広告主が確認し、必要に応じて修正しなければならない。

■その他

なし

| 媒体 | Yahoo!・LINE | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|--|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | LINE広告とYahoo!レスポンシブディスプレイ広告のタイトルと説明文を生成AIが提案する機能が提供された。 | | |
| メリット 活用方法 | 提案されたタイトル・説明文の確認と調整のみで簡単に広告文が作成できるため、広告作成の手間や時間を削減できる。 | | |
| 懸念事項注意点 | 利用できるのは1アカウントにつき30回/1ヶ月 生成された広告は審査基準に準拠しているとは限らない | | |
| その他備考 | LINE、Yahoo!ともに2024年7月8日提供開始 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/yahoo-ads/20240703/ https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/20240709/ | | |



【LINE広告】自動ターゲティングの機能を正式リリース

β版だった「自動ターゲティング」が正式にリリースされ、オーディエンスの除外設定が可能になった。

■概要

β版の機能として提供していた「自動ターゲティング」が正式にリリースされた。また、この正式リリースで新たに「オーディエンスの除外設定」が可能になった。それ以外の機能はβ版と変わらない。

■自動ターゲティングとは

設定したターゲティング条件内で更にイベント実行が見込めるユーザーを探し、最適なオーディエンスを自動で生成する機能。

ターゲットの「地域」「性別」「年齢」「OS (iOS、Android)」をそれぞれ任意で設定すると、アクションが見込めそうなユーザーを自動的にターゲティングする。

■設定方法

キャンペーン配下、広告グループの「ターゲット設定」より「ターゲティングモード」>「自動ターゲティング」を選択する。

■その他

なし

| 媒体 | LINE | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | β版だった「自動ターゲティング」が正式にリリースされ、オーディエンスの除外設定が可能になった。 | | |
| メリット 活用方法 | — | | |
| 懸念事項注意点 | — | | |
| その他備考 | — | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/202406/ | | |



【LINE広告】A/Bテスト機能を正式リリース

β版だった「A/Bテスト機能」が正式にリリースされ、オーディエンスの除外設定が可能になった。

■概要

β版の機能として提供していた「A/Bテスト機能」が正式にリリースされた。機能はβ版と変わらない。

■ABテスト機能とは（再掲）

配信対象者を均一に分割することで各広告グループ単位で配信機会が平等となり、正確なテストが可能になる機能。

■ABテストが可能な項目（再掲）

- ・クリエイティブ
- ・ターゲティング
- ・最適化と入札

■利用条件（再掲）

- ・テスト実施時に新規作成されたキャンペーンであること（既存キャンペーンは不可）
- ・キャンペーン作成時に以下いずれかの目的を選択していること
→ウェブサイトへのアクセス/ウェブサイトコンバージョン/アプリのインストール/
アプリのエンゲージメント
- ・キャンペーン上限予算の設定が必須ではないこと（ABテストでは設定不可）

■その他

なし

| 媒体 | LINE | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | β版の機能として提供していた「A/Bテスト機能」が正式にリリースされた。機能はβ版と変わらない。 | | |
| メリット 活用方法 | — | | |
| 懸念事項注意点 | — | | |
| その他備考 | — | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/202406/ | | |



【LINE広告】配信先設定画面から「LINEレシート」を削除

LINEレシートのサービス終了に伴い、広告グループの配信先設定画面からLINEレシートが削除される。

■概要

LINEレシートのサービス終了に伴い、広告グループの配信先設定画面からLINEレシートの表示が削除される。

■注意点

LINEレシートのみを配信先に指定している広告グループの場合、表示削除時に広告グループが強制停止される。広告グループの配信を再開する場合は、LINEレシート以外の配信先を設定して再開する必要がある。

■備考

過去にLINEレシートへ配信があった場合は、配信先別（詳細）のパフォーマンスレポートにLINEレシートが引き続き表示される。

■その他

なし

| 媒体 | LINE | 情報種別 | 機能変更予定 |
|-----------|---|------|--------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | LINEレシートのサービス終了に伴い、広告グループの配信先設定画面からLINEレシートの表示が削除される。 | | |
| メリット 活用方法 | — | | |
| 懸念事項注意点 | LINEレシートのみを配信先に指定している広告グループの場合、表示削除時に広告グループが強制停止される。 | | |
| その他備考 | 変更時期不明 | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/202406/ | | |



【LINE広告】友だち追加が広告フォーマット「動画（小）」に対応

キャンペーンの目的「友だち追加」が、広告フォーマット「動画（小）」に対応した。

■概要

キャンペーンの目的「友だち追加」が、広告フォーマット「動画（小）」に対応した。
配信面は「トークリスト」のみ。

▼広告フォーマット「動画（小）」に対応するキャンペーンの目的

| アップデート前 | アップデート後 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトへのアクセス ウェブサイトコンバージョン アプリのインストール アプリのエンゲージメント 動画の再生 リーチ | <ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトへのアクセス ウェブサイトコンバージョン アプリのインストール アプリのエンゲージメント 動画の再生 リーチ 友だち追加 |

■その他

なし

| 媒体 | LINE | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | キャンペーンの目的「友だち追加」が、広告フォーマット「動画（小）」に対応した。 | | |
| メリット 活用方法 | — | | |
| 懸念事項注意点 | 配信面は「トークリスト」のみ。 | | |
| その他備考 | — | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/202406/ | | |



【LINE広告】カスタムレポート機能（β）が利用可能に（再掲）

項目別にレポートを作成できる「カスタムレポート（β）」機能が利用できるようになった。

■概要

項目別にレポートを作成できる「カスタムレポート（β）」機能が提供された。

▼現在提供中のパフォーマンスレポートとの違い

- ・パフォーマンスレポート
広告グループのターゲティング設定にかかわらず配信されたユーザーの属性に基づいて表示
- ・カスタムレポート
広告グループのターゲティング設定に基づいてレポートが表示される
複数の項目を掛け合わせた配信結果を確認できる。

また、任意のレポートフォーマットを作成しテンプレートとして保存することも可能。

■利用方法

管理画面トップページの [広告アカウント] タブで、当の広告アカウント名をクリック
→「広告マネージャー」画面左上の [≡] > [レポートと計測] > 「カスタムレポート」を選択

■注意点

- ・パフォーマンスレポートや管理画面のダッシュボードレポートとは数値が異なることがある
- ・広告グループで設定されていないターゲティング属性に対する実績は表示されない
- ・β版のため、予告なく機能の提供を停止する可能性がある

■その他

なし

| 媒体 | LINE | 情報種別 | 機能追加 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | 項目別にレポートを作成できる「カスタムレポート（β）」機能が利用できるようになった。 | | |
| メリット 活用方法 | より詳細なデータをレポートできるようになる。 | | |
| 懸念事項注意点 | β版のため、予告なく機能の提供を停止する可能性がある。 | | |
| その他備考 | 6月中提供開始予定→提供開始済み | | |
| 参考URL | https://www.lycbiz.com/jp/news/line-ads/202406/ | | |

Meta廣告

M

【Meta広告】 詳細ターゲット設定の更新

詳細ターゲット設定の仕様が変更され、除外が使用できなくなる。

■概要

詳細ターゲット設定の仕様が変更され、新規の広告セットでは詳細ターゲット設定の除外を使用できなくなる。

■注意点

・詳細ターゲット設定の除外を使用している広告セットがあると、広告マネージャのレポートに警告バナーが表示される。影響を受ける広告セットから除外設定を削除し、公開し直すことが推奨されている。

・広告セットを複製して編集することや、保存済みのオーディエンスおよび下書きのオーディエンスを使用することはできない。

・2025年1月31日まで、既存のキャンペーンへの影響はない。

→1月31日より、詳細ターゲット設定の除外を使用したキャンペーンの配信が停止される。

■補足

その他の除外機能(カスタムオーディエンスの除外など)は引き続き使用できる。

■その他

なし

| 媒体 | Meta | 情報種別 | 機能変更 |
|-----------|---|------|------|
| おすすめの広告主 | すべての広告主 | | |
| 概要 | 詳細ターゲット設定の仕様が変更され、除外が使用できなくなる。 | | |
| メリット 活用方法 | — | | |
| 懸念事項注意点 | 2025年1月31日までに詳細ターゲット設定除外の利用をやめる必要がある。 | | |
| その他備考 | 2024年7月29日以降順次適用予定 | | |
| 参考URL | https://www.facebook.com/business/help/458835214668072 | | |



会社概要

弊社はリスティング広告やSNS広告などWeb広告の運用コンサルティング業務と、LP・コーポレートサイトなどのWebサイト制作サービスを提供します。

| | |
|------|---|
| 社名 | プライムナンバーズ株式会社 PRIME NUMBERS |
| 所在地 | 〒163-1107 東京都新宿区西新宿6丁目22-1 新宿スクエアタワー7階 |
| 電話番号 | 03 - 6276 - 0568 |
| 資本金 | 5,000,000円 |
| 代表者 | 小林 大輔 |
| 設立 | 2012年10月3日 |

無料相談はこちら

<https://primenumbers.co.jp/>

広告運用サービスのご案内資料はこちら

<https://primenumbers.co.jp/download/primenumbers-service/>

Web制作サービスのご案内資料はこちら

<https://primenumbers.co.jp/download/web-pro-service/>